

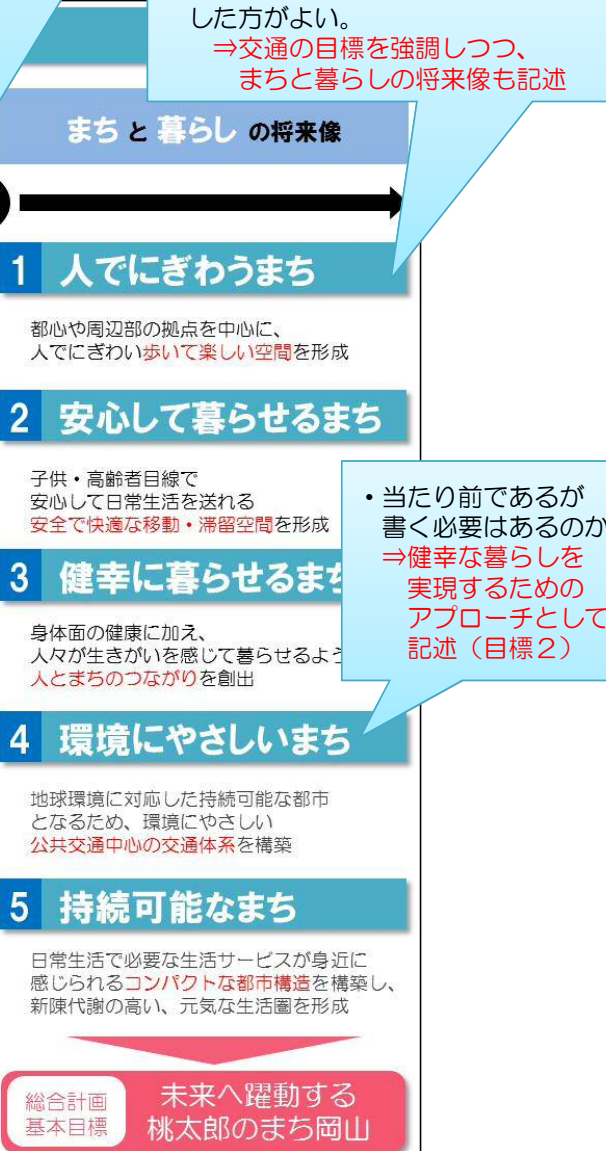
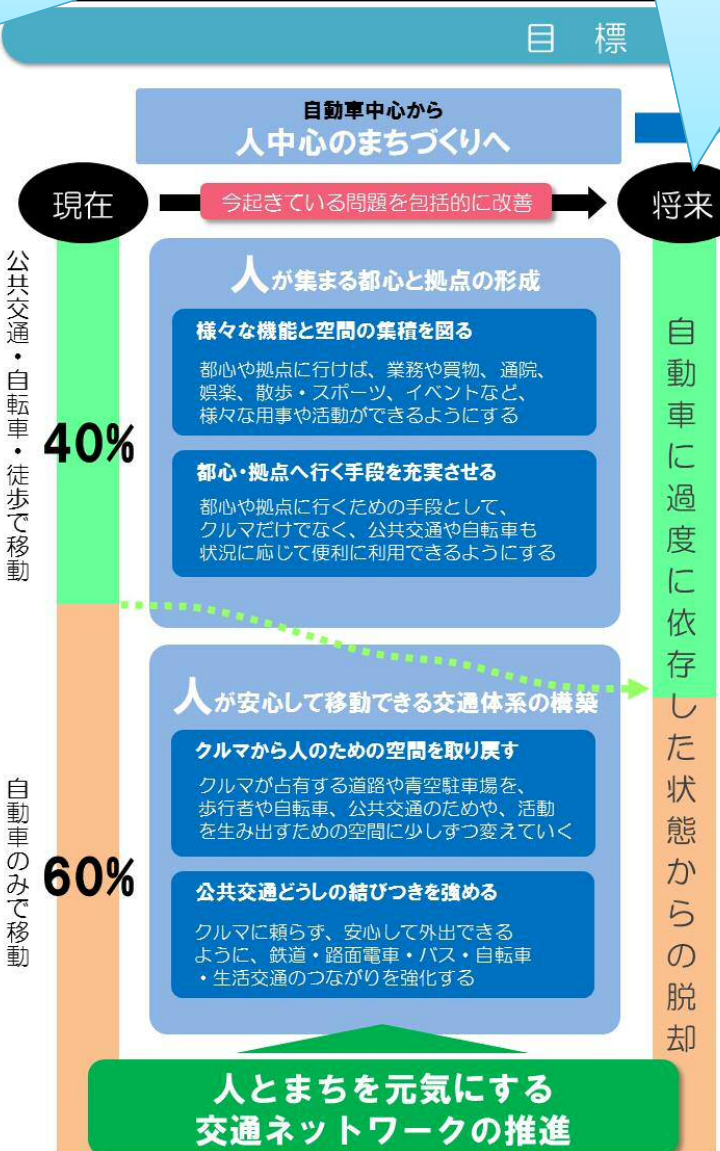
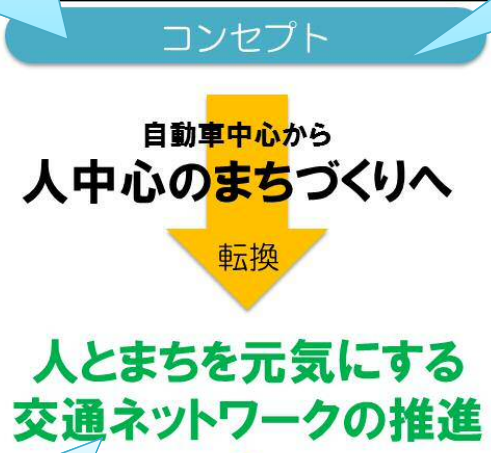
作業部会での主な意見(計画のコンセプト・目標について)

・公共交通の経営が厳しい状況下で、今のサービスを維持するのか、本数を減らしても万遍なくサービスを提供するのか、その点を踏まえたイメージが必要ではないか。
 ⇒ご意見踏まえて、コンセプトを再検討(具体的な実現化方策は次回以降協議)

市民参加の機会をつくることが重要。学識者の参加も考えられる。そのような市民の意見を聞く仕組みを含めていただきたい。
 ⇒市民参加の視点を追加(目標4)

・いまだに「自動車から公共交通に転換」に着目するのはどうか。困っている人を減らすという視点の方がよいのではないか。
 ⇒「困っている人を減らす」観点から、コンセプト・目標を再検討

・まちづくりの目標に見えるため、もう少し交通の目標をわかりやすくした方がよい。
 ⇒交通の目標を強調しつつ、まちと暮らしの将来像も記述



「交通ネットワークの推進」は何の議論かわかりにくい。
 ⇒ご意見踏まえ見直し

交通基本計画(H13) 基本理念

高齢者・身体障がい者だけでなく、大きな荷物を持った人、妊婦、乳幼児連れ、外国人等、いわゆる「交通弱者」を広義に捉えた上で、交通弱者も含めて様々な市民・来街者が、自動車・公共交通・自転車・歩行者等を、都心・周辺部などの地域特性に応じて自由に選択して便利・快適に利用できる、人と環境にやさしいヒューマニティあふれた交通体系を築き、中心市街地の活性化に寄与するとともに、快適な市民生活を支える。

・当たり前であるが書く必要はあるのか。
 ⇒健幸な暮らしを実現するためのアプローチとして記述(目標2)